

第2回調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会 議事要旨

日時：平成29年4月26日（水）15:00～17:10

場所：電力広域的運営推進機関 会議室 C

出席者：

辻 隆男 主査代理（横浜国立大学大学院 工学研究院 准教授）

福田 拓広 委員（東京電力パワーグリッド(株)系統運用部 系統運用技術Gグループマネージャー）

佐藤 幸生 委員（中部電力(株)電力ネットワークカンパニー 系統運用部 給電計画G スタッフ課長）

中瀬 達也 委員（関西電力(株)電力流通事業本部 給電計画G チーフマネージャー）

オブザーバー：

赤松 徹也氏（資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 政策課 課長補佐）

青鹿 喜芳氏（資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課 課長補佐）

前川 和之氏（電力・ガス取引監視等委員会事務局 ネットワーク事業監視課 課長補佐）

欠席者：

大山 力 主査（横浜国立大学大学院 工学研究院 教授）

配布資料：

（資料1）第2回作業会議事次第

（資料2）調整力細分化（区分）の仮置きと検討項目⑤⑧の詳細項目について

（資料3）⑤細分化・市場化に伴い必要となる技術的な対応、ルール等（調達タイミング）の検討について_中部電力株式会社提出資料

（資料4）項目⑤細分化・市場化に伴い必要となる技術的な対応・ルール等の検討_東京電力パワーグリッド株式会社提出資料

（資料5-1）⑧広域的な調達・運用に対する技術的課題の抽出_関西電力株式会社提出資料

（資料5-2）⑧広域的な調達・運用に対する技術的課題の抽出-別冊- _関西電力株式会社提出資料

議事概要：

- ・ 検討手順 Step1 における項目⑤、項目⑧について、引き続き、5月中下旬を目途に課題抽出の作業を進めることとした。
- ・ 一般送配電事業者メンバーから出された課題について、事務局にて整理することとした。

〔主な意見〕

- ・ 資料2について、従来の瞬動・運転・待機予備力と一次・二次・三次調整力は似たような概念と考えてよいか。
→（事務局）瞬動予備力であるガバナフリーと一次調整力はほぼ一致していると考えるが、運転・待

機予備力と二次・三次調整力の関係は今後の議論による。

- ・調整力公募における電源 I について、本作業会の議論における扱いを明確にすべきではないか。容量市場の議論で対象に含まなかった場合に、一連の議論から漏れてしまうことを懸念している。
→ (事務局) 電源 I はアデカシーの観点での議論であり、本作業会のスコープ外であるが、容量市場も含めた全体の検討対象から漏れないようにする。
- ・海外の事例では 4 時間単位の商品も存在しており、その場合、運用において指令する電源を切り替えていく必要があると考えるが、どのような課題があるか。
→ (一般送配電メンバー) 今回の検討では取り上げていないが、少なからず課題はあると考えている。機能による細分化以外に、契約期間による細分化についても課題を整理する必要がある。
- ・資料 3 の 5 ページに記載のエリア内の調整力の分散について、市場による対応以外も考えられることから、需給調整市場で対応するものかどうかは別として、まず課題として認識しておくこととする。
- ・資料 3 の 8 ページについて、急な傾きの時間帯は調整力を増やすということだが、これは二次調整力などの分け方ではなく、より高スペックな調整力を別に商品化すべきということを意図しているのか、次回に回答いただきたい。
- ・資料 3 の 6 ページについて、発電機によっては数日前から起動準備が必要とのことだが、電源種別と準備時間の関係を示すことは可能か。
→ (一般送配電メンバー) 代表的なケースでならば示すことが可能である。
- ・資料 4 の 2 ページについて、調整機能の使用状況把握に関する課題があるが、現状でも自エリア内の使用状況を把握しているのではないか。
→ (一般送配電メンバー) 新規参入の調整力に関する課題として記載したもの。これに加え、現状より細かい時間間隔の計測に関する課題もあると考えている。
→ (オブザーバー) 新規参入を考えた場合、計測による時間遅れの発生、インターネット回線の使用、FEMS・BEMS 等を用いた計測を許容するのもも考える必要がある。
- ・資料 4 の 5 ページについて、異なる電源間の受け渡しには課題があると考えますが、技術的に対応可能か。
→ (一般送配電メンバー) 調整力の要件の決め方次第であり、しっかり決める必要がある。
- ・資料 5 について、記載されている課題の検討を全て行うとなると相当な時間がかかるため、早急に議論し決めなければならない項目と、そうではない項目に分けなければならない。

以上